

令和6年度
小松市未来型図書館等複合施設基本計画策定支援業務

第4回リビングラボ開催報告

2025年1月25日（土）

未来型図書館をともにつくる！

こまつリビングラボ

【令和6年度第4回 開催報告】

1

開催概要

- 日時 : 2024年12月7日（土）13:30～16:30
- 開催場所 : 小松市役所7階会議室
- 参加者 : 75名



2

プログラム

1. 挨拶（宮橋市長・野末教授（青山学院大学教授・リビングラボコーディネーター））
2. 基本計画策定に向けた検討状況について
3. 第1回～第3回の振り返り
4. ショートレクチャー・ワーク説明
5. グループワーク
（未来型図書館と公園の関係をデザインしよう！）
6. 全体共有・講評
7. まとめ・次回予告

「ワクワクする」未来型図書館と公園の連携・活用を考えました

3

対話内容

対話 未来型図書館と公園の関係をデザインしよう！

① 芦城公園での活動イメージを考える

立地する芦城公園等の周辺環境と未来型図書館の連携によって、どのように過ごしたいかと、公園に必要な環境や機能を考える。

② 未来型図書館と芦城公園の連携・活用イメージの検討

各グループに設定された2季節におけるそれぞれの活動と、公園に必要な機能や環境の配置を考える。

第4回 こまつリビングラボの開催フロー

未来型図書館と公園の関係をデザインしよう！

未来型図書館づくりを考えるための
ショートレクチャーを実施します。

- ①【未来型図書館×公園
～芦城公園の歴史から～】
事務局
- ②【図書館と周辺環境との可能性】
野末教授



●未来型図書館の立地する芦城公園との連携によってどのように過ごしたいか、グループに設定された2つにの季節のうちいずれか一つを選択し検討する。また、それを実現するために、芦城公園には必要な環境や機能について考える。



ショートレクチャー

自己紹介

個人ワーク(公園活動イメージの検討)

芦城公園での自身の活動イメージの検討

●個人ワークで考えたイメージをグループで共有し、その体験を実現させるためには、芦城公園に未来型図書館以外にどのような機能・配置が必要か季節ごとにおこる活動・体験と併せて検討する。
※1グループにつき2シーズン検討



季節ごとに色分けした付箋に
活動と、必要と思われる機能
書き込み配置していく



未来型図書館・公園を連携させ
どのような機能や環境が
必要かを考える

グループワーク

共有

未来型図書館と芦城公園の連携・活用イメージの具体化

開催の様子 (1)



開催の様子 (2)



ワーク結果

グループ1

創る！こまつリビングラボ
図書館と公園の関係をデザインしよう！

グループ
1

グループワークシート

全体のゾーニング・過ごし方のコンセプト

**桜・自然と活かした
小松の未来**

**アウトドアと活かした
いい仕事
のエリア**

**うずまき山と車道と公園全体
と活かした散歩エリア**

芦城公園

付箋の色分け

- 必要な機能(付箋：オレンジ)
- 春の活動(付箋：黄)
- 夏の活動(付箋：緑)
- 秋の活動(付箋：赤)
- 冬の活動(付箋：青)

※グループに設定された季節に✓を付ける。

付箋の記号方法

● オレンジの付箋

→必要な機能を記述する

● 黄・緑・赤の付箋

→上記の季節ごとに、未来型図書館と芦城公園、もしくは既存施設跡地の機能との連携によって生まれた体験を記載する。

**図書館×公園
と活かした
新しい活動エリア**

**桜・自然(春)
と活かした活動
エリア**

シーズンごとの使い方について

【春】

"桜"を象徴としたくつろぎいいの体験
を実現する体験を実現

【夏】

よりアクティブな、図書館×公園でい
てきたい体験を実現

思い出×未来を語るエリア

季節：春・夏

検討のプロセス

グループ1は、春と夏における未来型図書館と芦城公園の連携について検討しました。目指したのは、**季節ごとに異なる体験を生み出し、歴史と自然を活かした「春」と、よりアクティブな「夏」を、未来型図書館と公園が一体となって楽しめる環境**です。

春には、桜園やうずまき山など、公園が持つ歴史や自然の魅力を活かしたくつろぎの時間を大切にし、過去から未来へと想いをつなぐプログラムを展開します。一方、夏には、未来型図書館と公園を融合させ、スポーツイベント（マラソン大会）や映画、プロジェクションマッピングなどによるダイナミックなイベントを行い、創造的な体験の幅を広げます。

このような多彩な活動を実現するため、①桜・自然を生かした活動エリア、②うずまき山を中心とした散歩エリア、③思い出から未来を語り合うエリア、④図書館と公園を拡張する新たな活動エリア、⑤アウトドアを活用した憩い・仕事エリア、という5つのエリアを設定しました。**季節や目的に応じて、穏やかな過ごし方からアクティブな行動へ、さらには歴史と記憶を土台にした新たな創造へと、柔軟に空間を使い分けられる**ように考えました。

こうして、**公園に受け継がれてきた「歴史と記憶」と、未来型図書館が生み出す「新たな創造性」**が結びつくことで、公園と図書館が共に進化し続ける環境を目指します。

実現するにあたっての課題

①

芦城公園の歴史を学び
記憶を共有する

②

未来型図書館の機能と
公園の機能の一体的なデザイン

③

プログラムの企画・運営における
協働体制の確立

ワーク結果

グループ2

創る！こまつりビングラボ
図書館と公園の関係をデザインしよう！

グループワークシート

全体のゾーニング・過ごし方のコンセプト

公園+図書館
= **図書館**

図書館駐車場(32台)

市立図書館跡地

歴史・文化

アクティヴ

シーズンごとの使い方について

【夏】

新しい公園の使い方

【秋】

付箋の色分け

■ 必要な機能(付箋)

□ 春の活動(付箋:黄)

□ 夏の活動(付箋:緑)

□ 秋の活動(付箋:赤)

□ 冬の活動(付箋:青)

※グループに設定された季節に✓を付ける。

付箋の記載方法

● オレンジの付箋

→必要な機能を記載する。

● 黄・緑・赤の付箋

→上記の季節ごとに、未来型図書館と芦城公園、もしくは既存施設跡地の機能との連携によって生まれた体験を記載する。

季節: 夏・秋

検討のプロセス

グループ2は、夏・秋における未来型図書館と公園の連携・活用について考えました。地域や世界の食をテーマにした活動や、日本庭園をそのまま利用した活動、夏や秋らしいアウトドア的な活動など、**さまざまなアクティビティと図書館をつなぐ活動をどう作っていくか**という検討が進みました。その工夫の一例として、公園自体を広義の図書館と見立て、図書館を拠点に活動が広がるのではなく、芦城公園全体によりどころや活動の拠点を点在させることで、隅々まで公園を活用していくことのイメージが共有できました。**逆にたくさんのアクティビティを生む施設が多くあることで、ゆっくりとした過ごし方ができないなどの懸念もあり、適度に何も無い空間をつくることも大切だということも確認されました。**

公園内は、①既存の日本庭園を活かしたエリア、②食と体験をテーマにした賑わいのあるエリア、③中央緑地を活用しキャンプ場のようにアクティブに活動できるエリア、の3つのエリアが生まれました。

夏・秋のテーマらしく、**公園とさまざまなアクティビティが接続され、知識と体験が混ざり合う公園づくり**が、コンセプトとなりました。

実現するにあたっての課題

①

食や体験をテーマにした
継続できるコンテンツ企画

②

芝生広場と図書館をつなぐ
機材等の整備

③

ゆっくりとした時間を過ごしたい
利用者と活動のバランス

(グループ2)

ワーク結果

グループ3

共に創る！こまつリビングラボ
来型図書館と公園の関係をデザインしよう！」

グループワークシート

全体のゾーニング・過ごし方のコンセプト

たき火を囲む

にぎやか

シーズンごとの使い方について

【秋】

【秋】
ロケーションを活かして丸ごと図書館。
なごを活かしてアクティビティに！
秋の校長はたき火を囲む。

【冬】

暗いジメジメした冬に
たき火を囲んで明るく過ごせる

グループ 

付箋の色分け

- 必要な機能(付箋:オレンジ)
- ☐ 春の活動(付箋:黄)
- ☐ 夏の活動(付箋:緑)
- ☒ 秋の活動(付箋:赤)
- ☒ 冬の活動(付箋:青)

※グループに設定された季節に✓

付箋の記載方法

- オレンジの付箋
→必要な機能を記載する。
- 黄・緑・赤の付箋
→上記の季節ごとに、未来型図書館と芦城公園、もしくは既存施設跡地の機能との連携によって生まれた体験を記載する。

季節：秋・冬

検討のプロセス

グループ3は、秋・冬の未来型図書館と公園の連携・活用について考えました。個人ワークでは、「屋根・街灯付きの通路」や「式典等ができるステージ」「小松市らしい能舞台」など、季節を問わず楽しむ案も出されましたが、「秋冬は日が短くなるにつれて真っ暗になる公園内を通るのが怖い（防犯面も気になる）」「未来型図書館から見下ろした風景も、きっと真っ暗な空き地に見えてしまう」という具体的なイメージが共有され、季節やシーンを意識した話題が広がりました。**既存の図書館を取り壊した跡地は、芝生広場、未来型図書館、日本庭園の3点をつなぐ場**として、見晴らしよく集まりたくなる広場、暗くて寒い北陸の冬をほっと温かくしてくれる広場であってほしいという思いから生まれたのが**「たき火を囲む」というコンセプトと、「にぎやか」から「しずか」にグラデーションするゾーニング**です。暑さが和らぐ秋は、公園～図書館の屋上までの間に点在した健康器具を使ってウォーキングをしたり、ヨガやボルダリング、手作りマーケットイベント、ハンモックで読書など、過ごしやすい気候と景色が内外をつなぐ。冬はイルミネーションやプロジェクションマッピング等で暗さも楽しみつつ、外に出るきっかけや交流をする機会をつくる。これまで公園や図書館を利用していなかった層に向けては、園内を歩くのが楽しくなるような傘の貸出、動画配信等ができるWi-Fi環境、ドライブスルーのブックポストや、博物館と連携して郷土食や焼物など小松を知るワークショップの開催等の意見も出ました。

実現するにあたっての課題

①

焚き火を囲める広場、
火鉢の貸し出しなど
「火」を扱える環境の整備

②

徒歩だけでなく、ベビーカーや
自転車など、晴れの日以外も
シームレスに移動が叶う環境

③

講座や配信などを通じ、地域を
知る・実践する・発信するなど
多くの情報に触れられる仕組み

ワーク結果

グループ4

「来る！こまつリビングラボ
図書館と公園の関係をデザインしよう！」

グループワークシート

全体のゾーニング・過ごし方のコンセプト

外からつながって、中で明るく



シーズンごとの使い方について

【冬】 雪も楽しむ

【春】 めぐる、つながる、糸がぐ

検討のプロセス

グループ4は、冬・春における未来型図書館と公園の連携・活用について考えました。

冬は、暗く寒いからこそ「明るく温かく雪も楽しむ」というコンセプトを掲げました。具体的には、ライトアップや焚火によって明るくなった場所に市民が集い、クリスマスマーケットや飲食で賑わうことを考えました。**冬でも人が公園内の屋外で集う**ことを目指しました。

春は、人生の節目のタイミング・出会いと別れの季節であるということに鑑みて、「めぐる・つながる・紡ぐ」というコンセプトを掲げました。具体的には、散った桜を拾った後、図書館内の部屋にて栞を作製したり、不要となった物品・書籍を交換・売買するフリーマーケットを開催したりすることを考えました。つまり、**公園を軸に循環**させていくということです。

全体コンセプトとして、「外からつなげて中で明るく」を掲げ、季節に関わらず、**公園の外から人を呼び込み、公園で活動後、図書館の利用を促す**アイデアが披露されました。公園内にある植物の説明板にQRコードを記載し、詳しく知りたい人は図鑑等の参照を促すしかけや、遊べる彫刻遊具（プレイ・スカルプチャー）を公園内に配置するアイデアが出されました。

実現するにあたっての課題

①

未来型図書館と
公園をつなぐコンテンツの検討

②

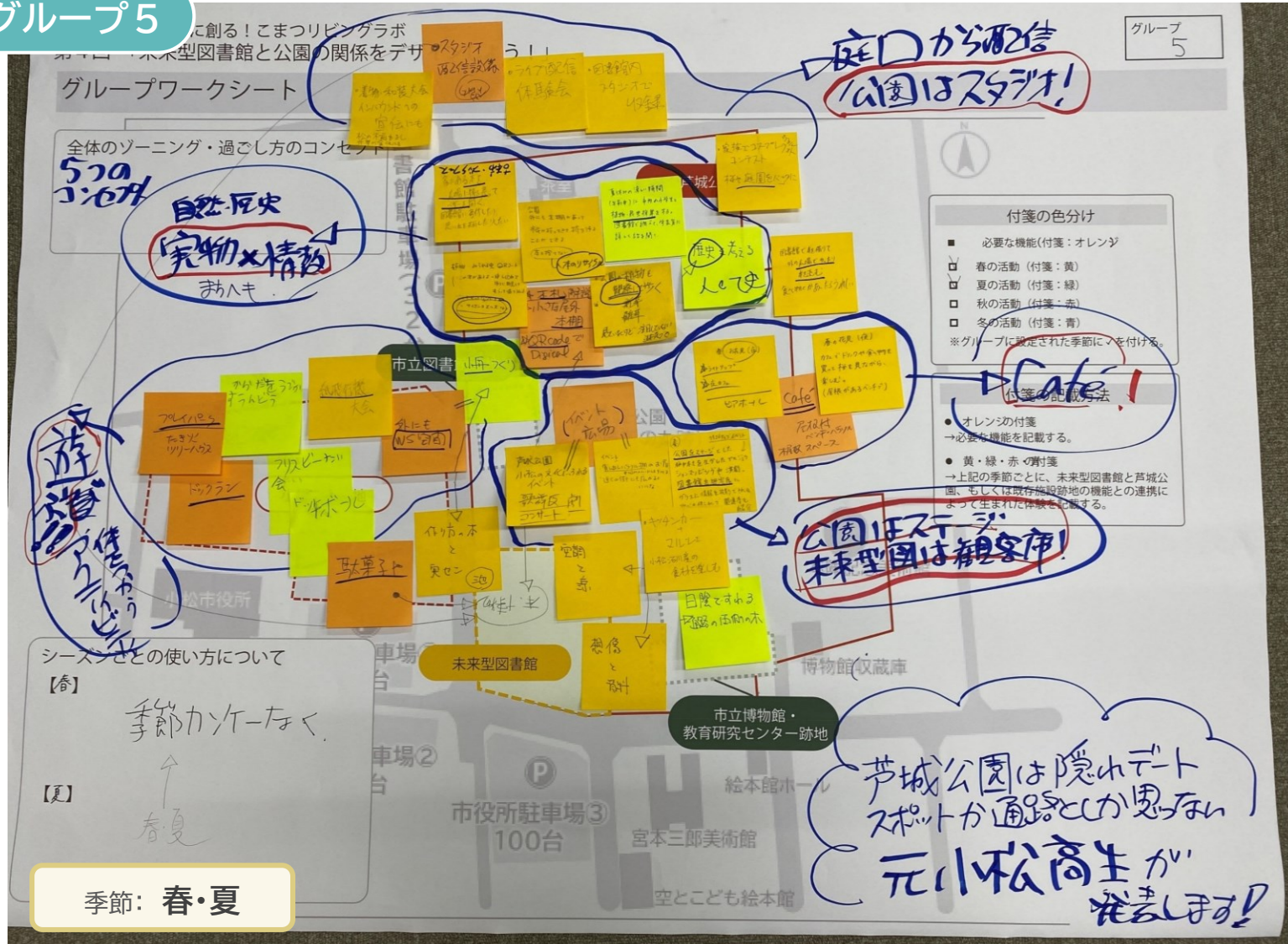
大がかりなイベントを行う際の
費用

③

ベンチ、アーケード、モニュメント
等のハードの整備

ワーク結果

グループ5



検討のプロセス

グループ5は、春・夏シーズンでの施設ー公園連携について個人ワークしましたが、その結果、いずれもオールシーズン可能な利用・活動と言えるのではないかとということで議論が進み、5つのコンセプトにまとめられました。

1. **公園はステージ・未来型図書館はアリーナ！** 施設前面にイベント広場を設けることで、音楽・パフォーマンス（歌舞伎など）のできるステージアリーナの関係を作りたい。マルシェやキッチンカー出店なども開催できる空間に
2. **公園はスタジオ！** 日本庭園や茶室などを使った撮影（結婚や家族写真）・編集・ライブ配信ができるように施設内には情報編集・配信スタジオを作ろう
3. **遊ぶ！** 隣接の緑地では、体を動かす遊び、ものづくりなどのワークショップ、ドッグラン、焚き火もできる「プレイパーク」など、子どもの遊びと情報や活動のつながりが語られると共に、施設内には駄菓子屋など子どもの外遊びとつながる場を設けたいという議論
4. **café** ワカモノからは映える夜カフェのできる屋根付きのcaféスペースを求める声。春の花見や夏のビアホールにも。
5. **実物x情報** 公園の植物・生き物などの自然や歴史の実物を観察しながらそれにかかわる情報を手にできる環境を作ろう。現在もある解説木札を拡張してQR活用のデジタル資源との連携、屋外のリトルライブラリー（本棚）を。外に本のある状態から古本ーブックフェスも

実現するにあたっての課題

①

公園内に、ステージもしくは観客席となるイベント広場、café、などの空間を整備

②

施設内に外の活動とつながる空間
情報提供や発信のできる
情報基盤とコンテンツ制作の仕組み

③

活動主体をいかにつくるか
いかに自由な活動ができる
環境を整えるか

ワーク結果

グループ6



検討のプロセス

グループ6は、夏・秋シーズンでの連携・活用について考えました。個人ワークでは、夏・秋というシーズンもありアクティブな活用方法が多く出た一方で、子育て世代の方たちから、昨今の猛暑について庇や水場など子どもが安全に遊べる場所が欲しいという意見が多く出ました。

チームからでた意見をまとめると、「浅い水場や遊具があり大人もストレッチができるような子どもの遊び場・芝生広場エリア」「自然豊かな芦城公園の環境を活かした草木や昆虫の観察ができる学びのエリア」「トマト栽培などの市民農園や育てた作物を食べたりできる活動エリア」という大きく3つのエリアにまとめることができました。

それらのエリアがそれぞれで完結するのではなく、**未来型図書館で学んだことを実践するあるいは、芦城公園で行ったことを未来型図書館で発表するなどの連携ができるのではないかという議論から『学びと体験の循環』というコンセプトになりました。**

また、芦城公園と未来型図書館の連携ということにとらわれず、街中をランニングして芝生エリアでストレッチ、小松市の特産品などの専門の方を呼んでレクチャーをしてもらうなど、**市域全体での「学びと体験の循環」意見などもありました。**

実現するにあたっての課題

①

学びや活動を行えるような
芦城公園の整備

②

エリアで完結しないような
連携企画の検討

③

猛暑時に安全にすごせる
庇など居場所の整備

ワーク結果

グループ7

創る！こまつリビングラボ
未来型図書館と公園の関係をデザインしよう！

グループワークシート

全体のゾーニング・過ごし方のコンセプト

- ・ 色々な人の目的をかなえられる。
- ・ 活動・学び・創造が循環する。

アクティブエリア

シーズンごとの使い方について

【春】

屋外での様々なアクティビティ。
未来型図書館と公園の間に繋がる

【冬】

屋内から公園の自然を
楽しむ
クリスマス・マーケットなどのイベントも！

図書館駐車場(32台)

市立図書館跡地

小松中央緑地

未来型図書館

まちにつなぐ

芦城公園

付箋の色分け

- 必要な機能(付箋:オレンジ)
 - 春の活動(付箋:黄)
 - 夏の活動(付箋:緑)
 - ☑ 秋の活動(付箋:赤)
 - ☑ 冬の活動(付箋:青)
- ※グループに設定された季節に✓をつける。

付箋の記載方法

- オレンジの付箋
→必要な機能を記載する。
- 黄・緑・赤の付箋
→上記の季節ごとに、未来型図書館と芦城公園、もしくは既存施設跡地の機能との連携によって生まれた体験を記載する。

広場を使って
自由に活動
できるエリア

季節: 秋・冬

検討のプロセス

グループ7は、秋・冬における未来型図書館と公園の連携・活用について考えました。ワークに着手する時点では、特に寒さが厳しい冬の活動に難しさがありそうだという印象も見受けられましたが、個人ワークではメンバー内で秋・冬どちらの季節も取り組まれ、全体を通して、**屋外環境の活用とともに、屋外で過ごしにくい時期でも、どのように屋内と連携しながら公園という周辺環境を活かしていくか**という点も含めて検討が進んでいきました。その工夫の一例として、芦城公園の樹木をライトアップやイルミネーションをすることで、公園の中と未来型図書館内上層の階どちらからも公園の景色をそれぞれ異なる角度から楽しめるというアイデアが生まれました。

公園内は、①芦城公園の既存の自然を活かしたエリア、②芝生広場のような場所で自由に新しい活動を生み出すエリア、③中央緑地を活用しのびのび体を動かしアクティブに活動できるエリア、④施設の1階をひらき未来型図書館の機能をまちにつなぐエリアの4つのエリアが生まれました。

こうした4つのエリアが組み合わさることで、**公園内で様々な目的を持った人の多様な活動が可能になること**、また、**未来型図書館と公園での活動が連携することで、活動・学び・創造の循環を生み出していく**ことが公園全体のコンセプトとなりました。

実現するにあたっての課題

①

未来型図書館と
まちをつなぐコンテンツの検討

②

ゆったり過ごせる
芝生広場の整備

③

活動を学び・創造と結び付ける
連携企画の検討

第4回の結果整理

各グループで検討した未来型図書館と芦城公園等の周辺環境との連携・活用イメージについて、エリアごとに整理した結果は以下の通りです。これらを踏まえて、公園の整備方針(周辺整備計画)に反映していきます。

グループ1				
【コンセプト】 桜・自然を活かした小松の未来				
エリア	機能(造作・設備等)・環境	サービス・備品	プログラム	活動 季節:春・夏
うずまき山を中心と公園全体を活かした散歩エリア (芦城公園北)	充電設備			- 春うらら目指すわ五千歩 - 高齢者公園を散歩し喫茶で一杯(茶室)
思い出×未来を語るエリア (芦城公園南[未来型図書館南・教育研究センター跡地含む])	小松の歴史を見れるデジタルスタジオ	テラス(屋外)で食事が出来るメニュー		カフェで思い出を語り未来を見る
図書館×公園を拡張する新たな活動エリア (芦城公園中央～東)	- スクリーン・上映機 - ライト(歩行者安全用) - プロジェクションマッピングに必要な物 - ステージ・音響機器・照明	- レンタルチェア - アルコール - 夜間開架(図書館) - 人員確保 - イス	マルシェの出店	- マラソンで映画 - 夏の夕べのいいこの場
桜・自然(春)を活かした活動エリア (芦城公園南～東[博物館跡地含む])	- 公園内で食べれる机やイス - 梅林の植樹 - 公園内屋外舞台	- カメラ・照明器具 - 屋外飲食用テーブル	- 桜スイーツの開発 - 図書館・博物館資料を活用する	- 桜スイーツ - 桜写真展 - 梅舞台
アウトドアを活かしたいこい・仕事のエリア (芦城公園東[市立図書館跡地含む]、中央緑地)	- 屋外ワークスペース(屋根は必要) 0～6歳向けの遊具が入った全天候型施設	カフェ(公園内で飲食)テイクアウト		- アウトドアミーティング - 遊んで、涼んで、読んでランチ

第4回の結果整理

グループ2		【コンセプト】 公園＋図書館＝図書館		
エリア	機能(造作・設備等)・環境	サービス・備品	プログラム	活動 季節:夏・秋
歴史・文化 (芦城公園北)	・ いろんなところに分館 ・ たまり場	・ カフェ、気軽に茶体験 公園 ・ ブックカー	・ 図散歩×浴衣 ・ 書館とつながる公園 ・ 食×国際交流	・ 精霊流し ・ 肝試し ・ 移動式の売店
食・体験 (芦城公園東～中央～南[未来型図書館、博物館・教育研究センター跡地含む])	・ シンボルツリーイルミネーション ・ 紅葉 ・ 屋根付き遊具	・ 流しそうめん ・ 図書館屋上ビアガーデン ・ 公園へ本の持ち出し ・ シュハスコ ・ テーブル・チェア ・ スイーツ ・ キッチンカー	・ メイカーズ×自然 ・ 散歩×イルミネーション	・ 浴衣で散歩 ・ 着付(浴衣) ・ 秋の自然物で工作 ・ 釣り・虫捕り ・ ビアガーデン・BBQ
アクティブ (中央緑地)	・ シャワー室・水場 ・ ハンモック広場	・ 器具貸出(たき火台)		・ キャンプ ・ 貸出処理せずに本の持ち出し ・ テントでキャンプ(本読める)

第4回の結果整理

グループ3				
【コンセプト】 たき火を囲む				
エリア	機能(造作・設備等)・環境	サービス・備品	プログラム	活動 季節:秋・冬
静か (芦城公園北東、茶室付近)	・ ステージ ・ 冬も歩きやすい通路→自転車も乗りたい	・ ハンモック ・ Wi-Fi ・ ドライブスルー(ブックポスト)		・ 天気の良い日は外まで図書館になる ・ お茶会
↓ (芦城公園中央～西[図書館跡地、未来型図書館、博物館・教育研究センター跡地含む]) ↓	・ 大きなツリーをたてる ・ 屋根付きのスペース ・ ライトアップ(イルミネーション) ・ 能舞台 ・ (未来型図書館もしくは博物館跡地施設の)壁がゆきあてのま	・ 貸し出しカサ(めっちゃおしゃれ) ・ 火ばち貸し出し ・ たき火台 ・ テーブル	・ プロジェクションマッピング	・ こかげでヨガ ・ 七五三パーティー ・ 天気の良い日は外まで図書館になる ・ ライブ配信 ・ 焼マシュマロ ・ 新酒を楽しむ会 ・ たき火を囲んで本を読む ・ まきをくべる体験 ・ 宿題の間に(おわってから)焼き芋したり、休憩がてらカフェのものをたべたり ・ たき火(焼き芋、ホットドック、スープ)であたたまる ・ 火をながめて仕事・勉強 ・ 郷土料理 ・ 式典 ・ 夜でも景色を楽しみたい ・ 文化を学び→公園でやってみる
賑やか (芦城公園西～中央緑地)	・ 遊具 ・ 図書館の屋上までつなぐるウォーキングルート ・ ボルダリング	・ フィットネスの器具		・ 演奏会 ・ みんなで節分 ・ 手づくりマルシェ(図書館でつくって公園で販売) ・ ツリーに飾るものをつくるWS

第4回の結果整理

グループ4		【コンセプト】 外から明るくつなげて、中で明るく		
エリア	機能(造作・設備等)・環境	サービス・備品	プログラム	活動 季節:冬・春
(芦城公園北・茶室付近)			パンケーキとかカフェ感覚の日をつくる	- 松ぼっくり等ワークショップ - ロックガーデン - たき火 - 冬キャンプ
(芦城公園中央～東)	アーケード等、雨や雪に濡れないベンチ			- ライトアップ - クリスマスマーケット - お酒(ワイン・日本酒)
(芦城公園南東[博物館・教育研究センター跡地含む])				- ワークショップ - 建築めぐり(黒川紀章)
(芦城公園[未来型図書館])			図書館のテーマ展示と連携した催し	- しんと降る雪景色を見ながら静かに本を読む - 桜の花びらでしおりづくり - プレイスカルプチャー(モニュメント遊具)
(芦城公園西[図書館跡地含む])			植物や動物の詳細をQRコードで読み取る→(詳しく知りたいなら図書館にある本で)	
(中央緑地)	自然を観察し触れられる森をつくる			- フリーマーケット - 本の交換会
(西方向まちなか)				古地図を見ながらブラ小松

第4回の結果整理

グループ5				
【コンセプト】 エリアごとに5つのコンセプト				
エリア	機能(造作・設備等)・環境	サービス・備品	プログラム	活動 季節:春・夏
庭口から配信 公園はスタジオ! (芦城公園北)	スタジオ配信設備			- 着物・和装大会、インバウンドへの宣伝にも - ライブ配信体験会 - 図書館内スタジオで収録 - 家族でコスプレフォトコンテスト。桜や庭園をバックに
自然・歴史 実物×情報 (芦城公園北・茶室付近)		小さな野外本棚	- 木札解説 - QRコードでデジタル	- 植物、見られる虫、QRコード、サイエンスヒルズなど - 本のリサイクル - 植物・昆虫採集 - 公園の植物を観察 - 歴史を考える - 図書館の本を借りて外の広場でゆったり本を読む。食べ物とかがあったらうれしい
Cafe! (芦城公園東)	Cafe(屋根付き・ベンチ・パラソル)			- お花見ライトアップ - 夜カフェ
公園はステージ、未来型図書館は観客席 (芦城公園中央)	(イベント広場) - 空調と涼			- 小松の文化に触れるイベント(歌舞伎・コンサート・劇) - 貸し出しパラソル棚のお店 - 公園をステージとし桜や木々を活かしたプロジェクションマッピングや演劇。図書館を観客席に - キッチンカー+マルシェ(小松・石川産の食材を楽しむ)
遊ぶ!! 体をつかうアクティビティ (中央緑地)	- 外にもWS空間 - プレイパーク - たき火・ツリーハウス - ドッグラン - 駄菓子屋			- 紙飛行機大会 - フリスビー大会 - ドッジボール - 小船づくり - つくり方の本と実践

第4回の結果整理

グループ6		【コンセプト】 学びと体験の循環		
エリア	機能(造作・設備等)・環境	サービス・備品	プログラム	活動 季節:夏・秋
活動エリア (芦城公園北西)	- 木と木の間からさっとふり出るテント - 蒸留器 - トマト畑 - テーブル・ベンチ - 災害時活用できるベンチ型コンロ		自然・科学への関心を深める理科系のイベントやブース	- 園内キャンプ的過ごせる施設 - 自然めぐり - ボタニカルジンづくり - トマト料理づくり
学びエリア (芦城公園東[未来型図書館、博物館・教育研究センター跡地含む])	雑草エリア			- 子どもの科学研究の材料集め - 食べれる植物採集 - タブレットをもって雑草探し。拡大鏡で写真を撮る - タブレットをもって昆虫探し。拡大鏡で写真を撮る - 魚つかみ取り→焼く→骨酒
活動エリア (中央緑地)	- サウナ - シャワーブース - キッチン - 芝生広場 - ウォーターエリア - 屋外遊具・浅い水辺 - 大きな日除け - キッチンカーエリア - 自動車から関内へ直通し便利な駐車場 - リフレッシュスペース - 親のくつろぎ読書スペース			- みんなでクッキング - 写真コンテスト - ノーストレスで朝から晩まで過ごせる空間 - 子ども見ながら外読書 - 夏でも外遊び！水遊びがしたい - 関内キッズコーナーと屋外スペースの自由往来

第4回の結果整理

グループ7				
【コンセプト】 色々な人の目的を叶えられる、活動・学び・創造が循環する				
エリア	機能(造作・設備等)・環境	サービス・備品	プログラム	活動 季節・秋・冬
自然エリア (芦城公園北)	- ベンチ - イルミネーション		かまくら	- かまくらで読み聞かせ - かまくらで食事 - ライトアップ - イルミネーションで散策 - かかしの展示
広場を使って自由に活動できる エリア (芦城公園東[博物館・教育研究センター跡地含む])	- 芝生広場 - 市民農園	- レンタルチェア・テーブル - キッチンカー - レンタサイクル	マルシェ	- 市民農園で野菜を育てる - クリスマスマーケット - 本棚づくり植本市(貸本棚) - 将棋大会名人戦前夜祭 - ゴロゴロ本を読む - 絵を描く - 音楽をする - おどる - まどろむ
まちにつなぐエリア (芦城公園南[未来型図書館含む])	- パフォーマンススタジオ - 劇場スペース	カフェマンガスペース	- 遺跡マップ - 保険士のタマゴによる健康指導+健康図書の特別展示	- 演劇発表会 - 遺跡マップウォークラリー、図書館は終点 - テーマに合わせた本を集めた特設スペース - ARで小松城を思う - 屋外のテラスからイルミネーションを楽しむ - カフェ・キッチンカーのコーヒー・スイーツで紅葉の下家族で団らん(構想・夢の話)
アクティブエリア (中央緑地)	スケートボード広場	貸し出しアウトドア用品		- ウォーキング体操 - スケートボード+冬はアイススケートもできる